

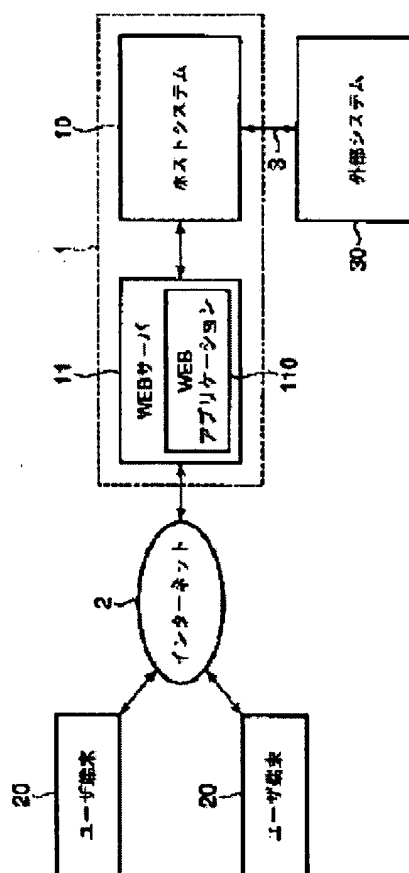
COMPREHENSIVE MANAGEMENT SERVICE SYSTEM FOR RISK AND ASSETS

Patent number: JP2003085377
Publication date: 2003-03-20
Inventor: HAIDA KYOICHI; HOJO KENJI; YOSHITOME TADASHI; HIROTA SHIGEKI; YAMAZAKI AYANORI
Applicant: DAI ICHI MUTUAL LIFE INSURANCE
Classification:
- international: (IPC1-7): G06F17/60
- european:
Application number: JP20010276850 20010912
Priority number(s): JP20010276850 20010912

Report a data error here

Abstract of JP2003085377

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a comprehensive management service system capable of providing information for comprehensively managing situations such as risk security and asset management every client by using the Internet. **SOLUTION:** The service system 1 is for providing products regarding risk security such as an insurance to which a user (a client or a contractor) is affiliated and information necessary for comprehensively managing products regarding asset management via the Internet. The system 1 has a host system 10 managing a database group and providing information regarding risk management and asset management per user, and a WEB server 11 sending the information onto the Internet.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-85377

(P2003-85377A)

(43)公開日 平成15年3月20日(2003.3.20)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード [*] (参考)
G 0 6 F 17/60	2 3 4	G 0 6 F 17/60	2 3 4 K
			2 3 4 C
			2 3 4 E
	5 0 4		5 0 4

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 9 頁)

(21)出願番号 特願2001-276850(P2001-276850)

(22)出願日 平成13年9月12日(2001.9.12)

(71)出願人 593054033

第一生命保険相互会社

東京都千代田区有楽町一丁目13番1号

(72)発明者 坪田 恭一

東京都千代田区有楽町1丁目13番1号 第

一生命保険相互会社内

(72)発明者 北條 賢治

東京都千代田区有楽町1丁目13番1号 第

一生命保険相互会社内

(74)代理人 100058479

弁理士 鈴江 武彦 (外5名)

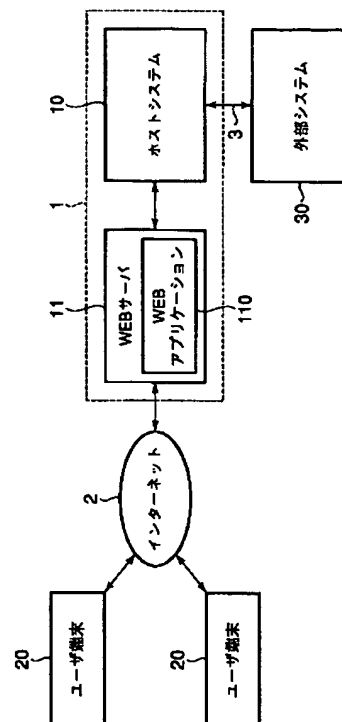
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 リスクと資産の総合的管理サービスシステム

(57)【要約】

【課題】加入者毎に、リスク保障や資産運用等の状況を総合的に管理するための情報を、インターネットを使用して提供できる総合的管理サービスシステムを提供することにある。

【解決手段】ユーザ（加入者又は契約者）が加入している保険などのリスク保障に関する商品や、資産運用に関する商品を総合的に管理するために必要な情報を、インターネットを介して提供するためのサービスシステム1が開示されている。本システム1は、データベース群を管理してユーザ毎にリスク管理及び資産管理に関する情報を提供するホストシステム10、及び当該情報をインターネット上に送信するWEBサーバ11を有する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネットに接続し、契約者であるユーザが操作する端末装置との間でリスク管理及び資産管理に関する情報の交換を実行する機能を有するサービスシステムであって、各ユーザ毎にリスク保障及び資産運用に関する商品を管理し、かつ各商品毎にユーザを管理できるように構成されたデータベース手段と、前記データベース手段を使用して、当該ユーザが加入している商品の内容を含むリスク管理及び資産管理に関する情報を取得する取得手段と、前記取得手段により取得された情報を、前記インターネットに接続された端末装置の画面上に表示するための画面情報を提供する提供手段とを具備したことを特徴とするサービスシステム。

【請求項2】 ユーザからの照会に応じて、当該ユーザが登録されているか否かを認証する認証手段を有し、認証されないユーザからの照会に対しては前記画面情報の提供を禁止する手段を更に備えていることを特徴とする請求項1に記載のサービスシステム。

【請求項3】 前記提供手段は、前記インターネットを介して通信される情報を処理するWEBサーバであることを特徴とする請求項1に記載のサービスシステム。

【請求項4】 前記データベース手段は、リスク保障及び資産運用に関する各商品毎に管理可能な構成の商品データベースと、当該各商品のいずれかに加入しているユーザを登録し、かつ登録ユーザ毎に加入対象の商品を識別可能な構成の顧客データベースとを含むことを特徴とする請求項1に記載のサービスシステム。

【請求項5】 前記リスク保障に関する商品は生命保険及び損害保険を含み、前記資産運用に関する商品は投資信託、生命保険及び年金関係商品を含むことを特徴とする請求項1又は請求項4のいずれか1項に記載のサービスシステム。

【請求項6】 インターネットに接続し、契約者であるユーザが操作する端末装置との間でリスク管理及び資産管理に関する情報の交換を実行する機能を有するサービスシステムであって、各ユーザ毎にリスク保障及び資産運用に関する商品を管理し、かつ各商品毎にユーザを管理できるように構成されたデータベース手段を有し、当該データベース手段を使用してリスク管理及び資産管理に関する情報を提供するホストシステムと、インターネットに接続し、ユーザからの照会に応じた情報を前記ホストシステムから取得し、当該情報を、ユーザが操作する端末装置にセットされた閲覧ソフトウェアにより閲覧可能な画面情報として提供するWEBサーバとを具備したことを特徴とするサービスシステム。

【請求項7】 前記画面情報は、リスク管理及び資産管理に関する情報項目群を表示するサービスメニュー画面、

及び当該各情報項目にリンクした項目内容を表示する情報表示画面を、前記端末装置により閲覧できる情報であることを特徴とする請求項1又は請求項6のいずれか1項に記載のサービスシステム。

【請求項8】 前記データベース手段は、リスク保障に関する生命保険と損害保険とを含む商品、及び資産運用に関する投資信託、生命保険及び年金関係商品を含む商品の各商品毎に管理可能な構成の商品データベースと、当該各商品のいずれかに加入しているユーザを登録し、かつ登録ユーザ毎に加入対象の商品を識別可能な構成の顧客データベースとを含むことを特徴とする請求項6に記載のサービスシステム。

【請求項9】 契約者である各ユーザ毎にリスク保障及び資産運用に関する商品を管理し、かつ各商品毎にユーザを管理できるように構成されたデータベース手段を有し、当該データベース手段を使用してリスク管理及び資産管理に関する情報を提供するホストシステムと、インターネットに接続してユーザからの照会に応じた情報を前記ホストシステムから取得し、当該情報を、ユーザが操作する端末装置にセットされた閲覧ソフトウェアにより閲覧可能な画面情報として提供するWEBサーバとを備えたサービスシステムに適用するサービス方法であって、

前記WEBサーバは、インターネットを介して前記WEBサーバに接続して照会を要求するユーザが登録されているか否かを認証するステップと、

リスク管理及び資産管理に関する情報項目群を表示するサービスメニュー画面を提供するステップと、前記サービスメニュー画面上で選択された情報項目にリンクした情報表示画面を提供するステップとを有する処理を実行するように構成されたことを特徴とするサービス方法。

【請求項10】 契約者である各ユーザ毎にリスク保障及び資産運用に関する商品を管理し、かつ各商品毎にユーザを管理できるように構成されたデータベース手段を有し、当該データベース手段を使用してリスク管理及び資産管理に関する情報を提供するホストシステムと、インターネットに接続してユーザからの照会に応じた情報を前記ホストシステムから取得し、当該情報を、ユーザが操作する端末装置にセットされた閲覧ソフトウェアにより閲覧可能な画面情報として提供するWEBサーバとを備えたサービスシステムにおいて、インターネットを介して前記WEBサーバに接続して照会を要求するユーザが登録されているか否かを認証する機能と、

リスク管理及び資産管理に関する情報項目群を表示するサービスメニュー画面を提供する機能と、前記サービスメニュー画面上で選択された情報項目にリンクした情報表示画面を提供する機能とを前記WEBサーバ

バに実現させるためのプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、一般的にはインターネットを介して契約者が加入している保険や金融関係の商品に関する情報を提供するためのサービスシステムに関し、特にリスク及び資産の総合的管理情報を提供するための総合的管理サービスシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】近年、保険制度、年金制度、あるいは資産運用の分野において、各種の改革が実施または計画されている。特に、従来では分野別に業務範囲が明確に分離されていた保険会社や、各種の金融機関が、従来の枠を超えた各種の商品を取り扱う状況が一般的になりつつある。

【0003】具体的には、例えば保険会社は、従来の生命保険や、損害保険、年金運用だけでなく、投資信託などの金融商品を取り扱って、リスク保障と共に、資産運用（年金運用も含む）の分野まで進出し始めている。また、例えば銀行や証券会社などが、従来の金融商品の取り扱いだけでなく、確定拠出年金制度の導入等に伴って、年金運用の分野への進出を計画している。

【0004】このような背景から、特に保険会社は、顧客として個人の加入者が多く、各加入者毎の生命保険や損害保険等のリスク保障商品の取り扱いだけでなく、老後の年金運用や資産運用の取り扱いが増大している。換言すれば、保険会社においては、加入者毎に、リスク保障商品だけでなく、資産運用（年金運用も含む）に関する管理を含む総合的管理が要求されている。ここで、加入者とは、保険契約者を意味し、ユーザや顧客と表現する場合もある。

【0005】一方、企業などの組織や団体だけでなく、個人や一般家庭においても、インターネットを使用した情報提供サービスの利用が普及されつつある。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】近年では、保険会社によるインターネットを使用したサービスとしては、加入者が契約している1件単位の生命保険の契約内容についての照会に対する情報提供サービスが実現されている。

【0007】しかしながら、前述したように、今後の保険会社は、生命保険、損害保険、年金運用、資産運用等の業務を総合的に行う総合的金融機関として活動することが要求されている。一方、加入者側からは、加入契約している生命保険等の契約内容だけでなく、傷病発生時などのリスク保障や、年金運用、資産運用等の状況を総合的かつ日常的に管理できることが望ましい。これを実現するために、パーソナルコンピュータや、携帯電話などのモバイル情報通信機器などを操作し、インターネットを介してそれらを総合的に管理するために必要な情報の提供を受けられることが望ましい。

【0008】そこで、本発明の目的は、加入者毎に、リスク保障や資産運用等の状況を総合的に管理するための情報を、インターネットを使用して提供できる総合的管理サービスシステムを提供することにある。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明の観点は、ユーザ（加入者又は契約者）が加入している保険などのリスク保障に関する商品や、資産運用に関する商品を総合的に管理するために必要な情報を、インターネットを介して提供するためのサービスシステムに関する。

【0010】具体的には、本システムは、インターネットに接続し、契約者であるユーザが操作する端末装置との間でリスク管理及び資産管理に関する情報の交換を実行する機能を有するサービスシステムであって、各ユーザ毎にリスク保障及び資産運用に関する商品を管理し、かつ各商品毎にユーザを管理できるように構成されたデータベース手段と、端末装置を介したユーザからの照会に応じて、データベース手段を使用して、当該ユーザが加入している商品の内容を含むリスク管理及び資産管理に関する情報を取得する取得手段と、取得手段により取得された情報を、インターネットに接続された端末装置の画面上に表示するための画面情報を提供する提供手段とを備えたものである。

【0011】このような構成のシステムであれば、ユーザは、端末装置を操作するだけで、インターネットを介して、加入している商品の内容を含むリスク管理及び資産管理に関する情報を画面上で確認することができる。即ち、ユーザは、1件単位の保険契約などの内容だけでなく、リスク保障や資産運用の状況を総合的に把握できる情報をインターネットで取得することができる。従って、リスク保障や資産運用の状況を総合的に管理できると共に、インターネットを利用するため、必要に応じていつでも状況を把握することができる。換言すれば、本システムにより、例えば保険会社は、総合的金融機関としてリスク保障や資産運用に関する複数種の商品を取り扱うと共に、それらに関する情報を提供する総合的管理サービス機能を実現することができる。

【0012】

【発明の実施の形態】以下図面を参照して、本発明の実施の形態を説明する。

【0013】（サービスシステムの構成）図1は、本実施形態に関するリスク及び資産の総合的管理サービスシステムの概略を示すブロック図である。同実施形態は、保険会社による総合的情報サービスを提供するためのサービスシステムを想定する。

【0014】本システムは、図1に示すように、保険会社が運営するシステム（以下狭義のサービスシステムと呼ぶ）1が、インターネット2を介してユーザ（加入者、契約者を意味する）が操作する多数の端末装置（ユーザ端末）20と接続して構築されるネットワークであ

る。

【0015】また、サービスシステム1は、通常では専用回線3を介して外部システム30とも接続されている。外部システム30は、当該保険会社が提携している会社（金融機関）又は別組織として運営されている会社のコンピュータシステムを意味する。

【0016】当該保険会社が運営するサービスシステム1は、大別してインターネット上での情報提供サービスを実行するためのWEBサーバ11と、提供サービスに必要な情報を管理するためのホストシステム10とから構成されている。WEBサーバ11は、各種のWEBアプリケーション110を実行することにより、後述するように、特にWEB画面上での画面情報を提供する情報提供サービスを実行する。

【0017】ホストシステム10は、図2に示すように、概略的にはホストアプリケーション100を実行するシステム本体（CPU）、及び提供サービスの対象であるリスク及び資産の総合的管理を行うための情報を蓄積しているデータベース群101～103から構成される。ホストアプリケーション100は、データベース群101～103を管理し、ユーザからの照会に応じた提供情報を編集し、WEBサーバ11に提供する機能を有する。

【0018】データベース群は、顧客データベース101と、商品データベース102と、入力情報データベース103とに大別される。顧客データベース101は、ユーザ毎に契約や取引を管理（名寄せ管理）するための情報群を蓄積している。商品データベース102は、各種の商品毎の契約情報を管理するための情報群を蓄積している。さらに、入力情報データベース103は、ユーザからの入力情報（アクセス情報や申出情報など）を管理するための情報群を蓄積している。

【0019】更に、ホストシステム10は、専用回線3を介して外部システム30と接続して、当該保険会社と提携している各種商品に関する情報を交換する。外部システム30としては、図2に示すように、例えば損害保険会社システム300、がん保険会社システム301、及び投資信託会社システム302等である。損害保険会社システム300は、当該保険会社が直接に扱う生命保険等の普通保険以外に、当該保険会社のユーザが加入している損害保険に関する契約情報をホストシステム10に提供する。同様に、がん保険会社システム301は、当該保険会社のユーザが加入しているがん保険に関する契約情報をホストシステム10に提供する。投資信託会社システム302は、当該保険会社のユーザが加入している投資信託に関する契約情報及び売買情報をホストシステム10に提供する。

【0020】（データベースの構成）以下図3から図5を参照して、同実施形態のホストシステム10が管理しているデータベース群の構成を説明する。

【0021】まず、商品データベース102は、図3に示すように、生命保険などの普通保険に関する契約情報102A、損害保険に関する契約情報102B、がん保険に関する契約情報102C、投資信託に関する契約情報102D、財形に関する契約情報102Eなどの各商品毎の契約情報を管理するための情報群を蓄積している。要するに、商品データベース102は、当該保険会社が直接に扱う普通保険及びそれ以外に提携会社が取り扱う損害保険などの各商品別に、当該保険会社を通じて加入したユーザ毎の契約情報（各種の契約事項からなる契約内容）を蓄積したものである。

【0022】入力情報データベース103は、図4に示すように、顧客属性情報103A、アクセス情報103B、及び申出情報103Cに分類される情報群を蓄積している。顧客属性情報103Aは、契約者である各ユーザの属性（氏名、住所、家族などの個人属性）に関する情報群である。アクセス情報103Bは、インターネットを介してユーザがアクセスしたときの操作履歴情報に対応するものであり、後述するサービスメニュー画面上の選択項目の履歴などの蓄積情報群である。申出情報103Cは、インターネットを介してユーザが入力した苦情や要望等の蓄積情報群である。

【0023】次に、顧客データベース101は、同実施形態のサービスシステムのメイン要素の一つであり、要するに、各商品間の名寄せ管理を実現するための情報群を蓄積し、ユーザ毎にリスク及び資産に関する総合的管理を実現するための要素である。

【0024】具体的には、顧客データベース101は、顧客マスタ情報データベース101A、顧客個人情報データベース101B、索引データベース101C、及び顧客アクセスデータベース101Dから構成されている。

【0025】マスタデータベース101Aは、各ユーザの基本的属性情報を蓄積している。基本的属性情報には、各ユーザを識別するための顧客番号や、各商品毎の契約を識別するための契約番号が含まれている。個人情報データベース101Bは、入力情報データベース103の顧客属性情報103Aから得られる各ユーザの個人属性情報であり、氏名、住所、家族に関する情報や、連絡先情報（電話番号や電子メールアドレス等）等を蓄積する。索引データベース101Cは、マスタデータベース101Aに蓄積されている顧客番号及び契約番号を使用して、商品データベース102を検索して得られる情報群、即ち各商品間の名寄せ管理を実現する情報群を蓄積する。

【0026】顧客アクセスデータベース101Dは、マスタデータベース101Aの基本的属性情報と関連付けて、入力情報データベース103から得られるアクセス情報103B及び申出情報103Cを蓄積する。

【0027】（情報提供サービスシステムの動作）以下

図1から図5以外に、図6のフローチャート、及び図7から図10を参照して、同実施形態のサービスシステムの処理手順を説明する。

【0028】同実施形態では、ユーザは、パーソナルコンピュータや携帯電話などの端末装置20を操作して、インターネット2上での当該保険会社のURLにリンクすることにより、後述するリスク及び資産に関する総合的管理に必要な情報の提供を受けることができる（ステップS1）。具体的には、ユーザ端末20の操作により、当該保険会社が運営するサービス用のホームページ（WEBページ）をアクセスすることになる。

【0029】WEBサーバ11は、リンクしたユーザ端末20からのユーザIDとパスワードの入力に応じて、ユーザが登録された契約者（通常では普通保険の加入者）であるか否かを確認するための認証処理を実行する（ステップS2）。この認証処理により、未登録のユーザの場合には、同実施形態の情報提供サービスを受けることはできない。但し、WEBサーバ11は、未登録のユーザの場合でも、予め用意されている商品の一般的紹介（当該保険会社が直接または提携会社を介して取り扱う各種の商品内容）などのホームページへリンクすることを許可する。

【0030】登録ユーザであることが認証されると、WEBサーバ11は、トップページとしてサービスメニュー画面の表示処理を実行する（ステップS3）。サービスメニュー画面は、例えば図7に示すように、取引（契約）状況の一覧管理、総合リスク管理、総合資産管理に大別される各管理情報のメニューを示す。ここで、ユーザ端末20は、例えばWWWブラウザなどの閲覧ソフトウェアを有し、WEBサーバ11からインターネット2を介して送信される画面情報を、ディスプレイ画面上で閲覧することができるように構成されている。

【0031】取引（契約）状況の一覧管理は、ユーザが契約・取引している内容の一覧画面、生命保険の手続履歴、及び保険料明細などの管理情報の提供である。総合リスク管理は、ユーザの生命や傷病、及び各種の損害に関するリスクを保障するための管理情報の提供である。更に、総合資産管理は、老後の年金管理及び資産形成に関する管理情報の提供である。

【0032】このサービスメニュー画面上において、ユーザは、関心のある項目を選択すると、当該項目をクリックすることにより、対応するホームページにリンクすることになる（ステップS4）。ここで、「取引一覧」の項目が選択されると、例えば図8に示すように、ユーザ（A）の当該保険会社における取引（契約）状況の一覧画面が表示される（ステップS10～S12）。ここでは、一覧画面として、「備える」、「貯める」、「殖やす」、「活かす」の項目別に整理された状態で表示される。「備える」は、当該保険会社（B）が直接に取り扱う生命保険や火災保険、及び提携保険会社を取り扱う生

命保険や損害保険に関する取引状況を示す。「貯める」は、当該保険会社（B）及び提携保険会社を取り扱う貯蓄性の高い保険（生命保険や養老保険等）に関する取引状況を示す。また、「殖やす」は、当該保険会社（B）及び提携投資信託会社を取り扱う投資信託商品に関する取引状況を示す。「活かす」は、当該保険会社（B）が管理している据え置金残高や積立配当金残高に関する状況を示す。

【0033】以上のような取引一覧画面情報は、WEBサーバ11がホストシステム10から提供される情報を編集処理して、インターネット2を介してユーザ端末20に提供したものである。ホストシステム10は、前述したように、データベース群101～103を利用して、ユーザの照会に応じて当該ユーザに対応する商品の取引（契約）情報を総合的管理情報として編集する。商品データベース102には、当該保険会社を取り扱う取引（契約）情報だけでなく、提携している外部システム30から提供される損害保険や投資信託などの取引（契約）情報が蓄積されている。

【0034】また、「総合リスク管理」の中で例えば「病気・ケガ」の項目が選択されると、例えば図9に示すように、ユーザ（A）が加入している契約の一覧（商品名など）及び病気・ケガに対する保障内容を示す画面が表示される（ステップS20～S22）。具体的には、画面情報として、ユーザ（A）が病気・ケガをした場合に、病院の入院又は通院に対する保障金額などを提示する。また、契約の一覧として、ユーザ（A）が加入している生命保険などの商品名や、契約番号に相当する証券番号などを提示する。

【0035】更に、図7に示すサービスメニュー画面から、「総合資産管理」の中で例えば「老後」の項目が選択されると、例えば図10に示すように、ユーザ（A）が加入している年金に関する契約の一覧を示す画面が表示される（ステップS30～S32）。具体的には、画面情報として、ユーザ（A）が加入している商品名（YYY, ZZZ）、種類・年金額、保険種目、証券番号（契約番号）などを提示する。

【0036】以上要するに、同実施形態の総合的管理サービスシステムであれば、当該保険会社の契約者（保険加入者）であるユーザの照会に応じて、当該ユーザの取引状況の一覧、総合リスク管理に関する契約内容、総合資産管理に関する契約内容をインターネットを介して画面情報として提供することができる。本システムのホストシステムにより、多数のユーザが契約している各商品間の名寄せ管理を実現するための情報群を蓄積しているデータベース群を利用して、ユーザ毎にリスク及び資産に関する総合的管理を実現するための情報を取得することができる。更に、WEBサーバにより、ホストシステムから得られた情報を、インターネット上でのWWWブラウザなどの閲覧ソフトウェアにより、ユーザ端末の画

面上で閲覧可能な画面情報として提供することができる。

【0037】各ユーザは、端末装置の画面上で、取引状況の一覧、総合リスク管理に関する契約内容（取引状況）、及び総合資産管理に関する契約内容（年金や金融資産の状況）をビジュアル（視覚的）に確認することができる。従って、ユーザは、1件単位の生命保険の契約内容だけでなく、万一（死亡）、病気、ケガ、介護などのリスク別の対応状況（即ち保障内容）を、画面上で一覧的に把握することができる。このような画面情報により、ユーザは、総合リスク管理を実現することが可能となる。同様に、1件単位の投資信託の契約内容だけでなく、老後の年金や金融資産の状況（年金商品や投資信託商品の契約内容）を、画面上で一覧的に把握することができる。このような画面情報により、ユーザは、総合資産管理を実現することが可能となる。

【0038】このようなインターネットを使用した総合的管理サービスシステムであれば、当該保険会社の契約者（保険加入者）であるユーザは、ユーザ端末を操作するだけで、必要に応じてリスク及び資産に関する状況を示す情報を取得できるため、常時かつ総合的にリスク及び資産を管理することが可能となる。

【0039】なお、同実施形態では、サービスシステムがインターネット上で提供する情報の具体的内容は一例である。例えば、総合リスク管理に関する項目では、リスク状況別に提供する情報として、「病気」の項目を設けて、この中に万一、入院、通院、あるいは病名毎（成人病やがんなどの区別）の保障内容を提示するものでもよい。要するに、ユーザ端末のWEB画面上に表示する画面情報は、ユーザが総合的にリスク及び資産を管理できるものであれば、多様な形態が可能である。具体的には、取引状況の一覧、総合リスク管理に関する契約内容（取引状況）、及び総合資産管理に関する契約内容（年金や金融資産の状況）をユーザが画面上で把握できる表示形態であればよい。

【0040】また、同実施形態では、保険会社が運営するシステムを想定したが、これに限らず、当該保険会社のホストシステム10から情報の提供を受けて、WEB上での情報提供サービスを行う情報サービス会社が介在するサービスシステムでもよい。また、ホストシステム自体を、当該保険会社と契約した会社が運営する場合でもよい。

【0041】（変形例）更に、同実施形態では、ユーザが、当該保険会社のWEBサーバが管理するホームページをアクセスして、情報提供のサービスを受けるシステムが想定されている。換言すれば、ユーザの照会に応じて、ユーザ認証処理により認証されたユーザ端末のみに情報提供のサービスが実行されるシステムである。

【0042】このような同実施形態の変形例として、WEBアプリケーション110として、電子メールシステ

ムを利用して、情報提供のサービス契約を実行したユーザにのみ、電子メールで定期的に情報提供サービスを行うサービスシステムでもよい。但し、このシステムでは、ユーザ認証処理が実行されないため、提供された情報が本人以外にも知られる可能性がある。

【0043】

【発明の効果】以上詳述したように本発明によれば、例えば保険会社などの加入者毎に、リスク保障や資産運用等の状況を総合的に管理するための情報を、インターネットを使用して提供できる総合的管理サービスシステムを実現できる。従って、ユーザは、端末装置を操作するだけで、インターネットを介して、加入している商品の内容を含むリスク管理及び資産管理に関する情報を画面上で確認することができる。即ち、ユーザは、1件単位の保険契約などの内容だけでなく、リスク保障や資産運用の状況を総合的に把握できる情報をインターネットで取得することができる。従って、リスク保障や資産運用の状況を総合的に管理できると共に、インターネットを利用するため、必要に応じていつでも状況を把握することができる。換言すれば、本システムにより、例えば保険会社は、総合的金融機関としてリスク保障や資産運用に関する複数種の商品を取り扱うと共に、それらに関する情報を提供する総合的管理サービス機能を実現することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態に関するサービスシステムの概略を説明するためのブロック図。

【図2】同実施形態に関するホストシステムの要部を説明するためのブロック図。

【図3】同実施形態に関する商品データベースの要部を説明するためのブロック図。

【図4】同実施形態に関する入力情報データベースの要部を説明するためのブロック図。

【図5】同実施形態に関する顧客データベースの要部を説明するためのブロック図。

【図6】同実施形態に関するサービスシステムの処理手順を説明するためのフローチャート。

【図7】同実施形態に関するサービスメニュー画面の一例を示す図。

【図8】同実施形態に関する取引状況画面の一例を示す図。

【図9】同実施形態に関する総合リスク管理画面の一例を示す図。

【図10】同実施形態に関する総合資産管理画面の一例を示す図。

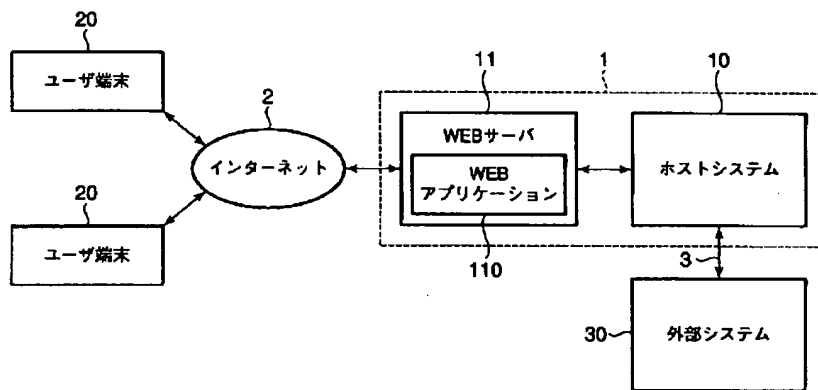
【符号の説明】

- 1…サービスシステム
- 2…インターネット
- 3…専用回線
- 10…ホストシステム

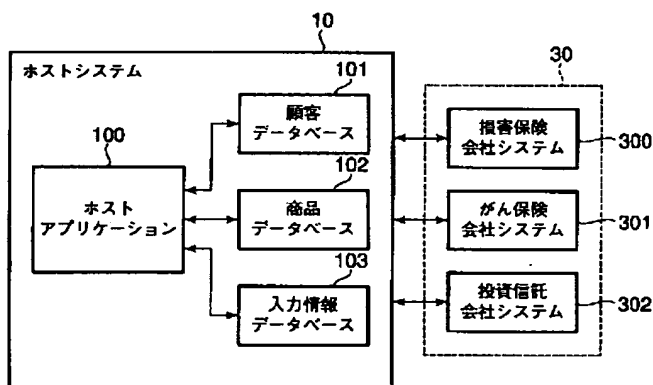
11…WEBサーバ
20…ユーザ端末
30…外部システム
101…顧客データベース
102…商品データベース

103…入力情報データベース
300…損害保険会社システム
301…がん保険会社システム
302…投資信託会社システム

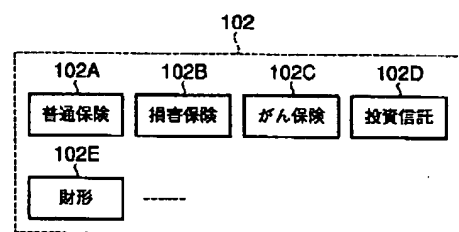
【図1】



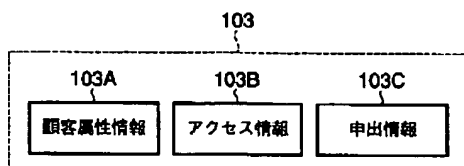
【図2】



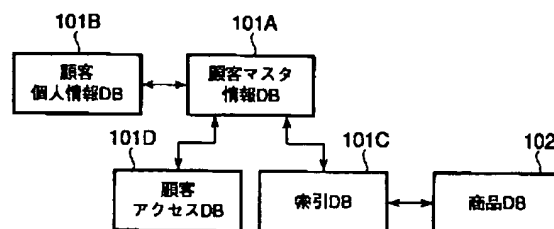
【図3】



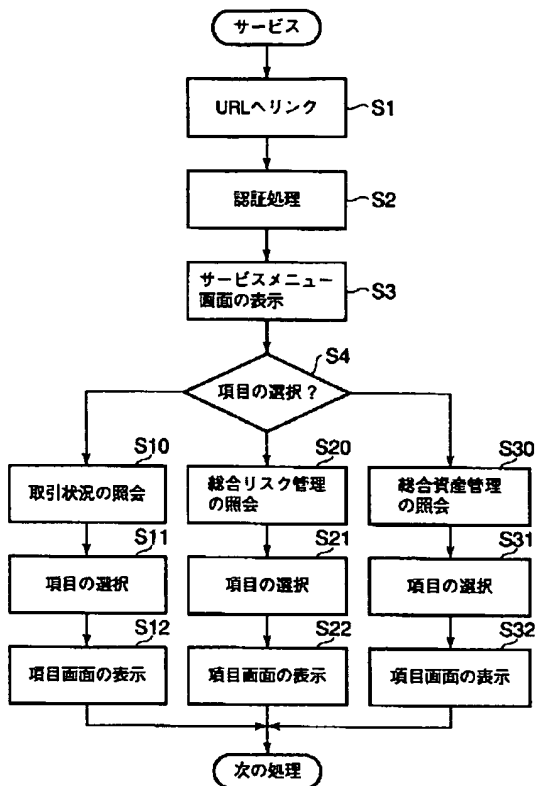
【図4】



【図5】



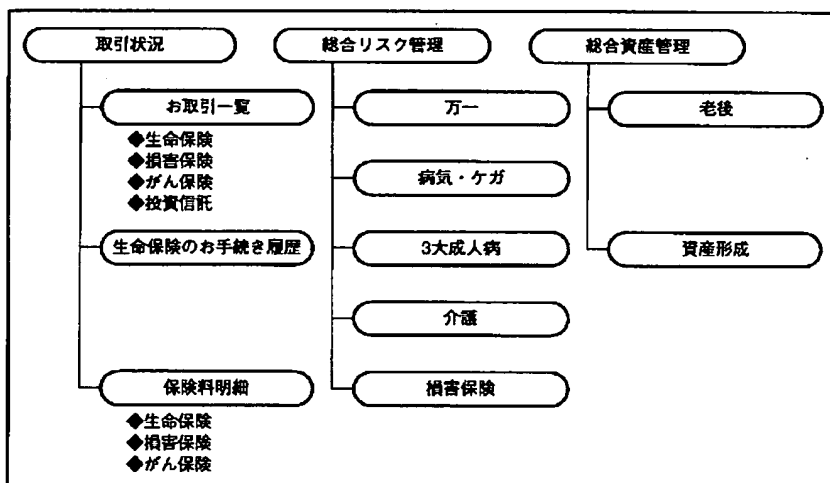
【図6】



【図8】

◇A様取引一覧◇	
[お届出住所] [電話番号]	
備える	貯める
B生命お取組 [B生命] 証券番号 9X01-123456-7 死亡保険金額：3,000万円 証券番号 9X01-234567-8 死亡保険金額：1,000万円 [C火災(注)] 証券番号 0123456789 証券番号 2234567890 [D生命(2001年11月末日現在)] 証券番号 8765432101	B生命お取組 [B生命] 証券番号 9602-345678-9 年金額：50万円 証券番号 0012-345678-9 満期保険金額：500万円 証券番号 8601-22134567-8 年金額：20万円
B生命お取組以外 [生命保険] [損害保険]	B生命お取組以外 [生命保険]
備やす	活かす
B生命お取組 [投資信託(2001年11月30日現在)] □口座番号 0100123456 B生命お取組以外 ◆公社債投信 : 100万円 ◆株式投信 : 100万円 ◆株式 : 70万円	インターネット振込くん

【図7】



【図9】

◇病気・ケガ編◇		
被保険者：A様の保障		
◆現在の保障概要(入院・通院の備え：日額)		
病気をされたとき	入院	10,000円
	通院	10,000円
ケガをされたとき	入院	12,000円
	通院	12,000円
その他入院・通院の備え 医療保障保険(治療給付金)		
◆ご加入契約の一覧		
B生命商品		
証券番号	商品名	
1234-567890-1	XXXX	

【図10】

◇老後(年金)編◇				
◆ご加入契約の内訳・内容				
B生命商品		被保険者	A様	
証券番号	9x01-123456-9	商品名	YYY	
保険種目	60歳払済60歳開始	種類・年金額	10年保障期間付終身	120万円
B生命商品		被保険者	A様	
証券番号	9x01-234567-0	商品名	ZZZ	
保険種目	55歳払済60歳開始	種類・年金額	10年確定	120万円
B生命商品		被保険者	A様	
証券番号	9x01-234567-0	商品名		
保険種目	60歳払済60歳開始	年金種類	10年確定	
一時払保険料	330万円	備考	運用実績により、年金額は増減します。	

フロントページの続き

(72)発明者 吉留 正

東京都千代田区有楽町1丁目13番1号 第一生命保険相互会社内

(72)発明者 廣田 茂樹

東京都千代田区有楽町1丁目13番1号 第一生命保険相互会社内

(72)発明者 山崎 文徳

東京都千代田区有楽町1丁目13番1号 第一生命保険相互会社内